

第43回千歳市環境審議会議事録

令和 2 年10月29日

第43回千歳市環境審議会

日 時：令和2年10月29日（木）10時～11時

場 所：第2庁舎2階会議室5・6

出席委員：長谷川誠会長、登坂英樹副会長、石川勇人委員、小川善弘委員、
西尾暢人委員、宇山昌一郎委員、荻原裕委員、小林純子委員、
森勝子委員、鎌倉英昭委員、熊本進誠委員、中西昭治委員、
福岡和世委員、（計13名）

欠席委員：佐々木一彦委員、向田健太郎委員（計2名）

事務局：澤田市民環境部長、小田市民環境部次長、吉田市民環境部環境センター長
岩崎環境課長、橋本廃棄物対策課長、満山廃棄物管理課総務係長、
佐藤環境計画係長、仁部屋環境保全係長、藤村自然環境係長、
中條主任、海谷主任

次 第

- 1 開会
- 2 議事録署名委員の指名
- 3 パブリックコメントの実施結果

募集期間 令和2年9月15日（火）～令和2年10月14日（水）

閲覧場所 市役所本庁舎ほか19施設

市民からの意見 なし

- 4 議事

審議第1号 第3次千歳市環境基本計画素案の修正について

審議第2号 第3次千歳市環境基本計画素案概要版について

報告第1号 千歳市環境基本計画（第2次計画）の進捗状況及び千歳市役所エコアクションプランの推進状況について

- 5 その他

- 6 閉会

第 43 回千歳市環境審議会議事録(会議概要及び議事要旨)

1. 開会

2. 議事録署名委員の指名

議事録進行に従い、長谷川会長が議事録署名委員に中西委員と宇山委員の 2 名を指名した。

3. パブリックコメントの実施結果

パブリックコメントの実施結果について、長谷川会長から事務局へ説明が求められ、募集期間、閲覧場所、市民からの意見がなかったことを説明した。

4. 議事

審議第 1 号 第 3 次千歳市環境基本計画素案の修正について

(1) 「審議第 1 号」について長谷川会長から事務局へ説明が求められ、次のとおり説明した。

【審議第 1 号】

第 3 次千歳市環境基本計画素案の修正について

説明資料として、資料 1 の「第 3 次千歳市環境基本計画策定における主な修正比較表」により説明した。

1 ページ

「コラムの掲載一覧」を追加した。

2 ページ

対象とする地域の図について範囲を修正した。

3 ページ

主要農産物生産量を主要農産物作付面積とし、円グラフを棒グラフに変更した。

4 ページ

「ナイベツ川湧水」が湧き出ているのは、「源頭部」だけではないことから、適切な記載とするため、下線部の箇所について修正している。

また、下水道普及率及び水洗化率について、合併処理浄化槽を含めた適切な表現とするため、汚水衛生処理率に修正した。

5 ページ

千歳市の自然資源の標記について、市の総合計画の表現と合わせ、「特に支笏湖周辺は樽前山や恵庭岳などの山々が連なり、自然の宝庫となっています。」を追加した。

6 ページ

千歳市内のリサイクル状況について、ペットボトルは集団資源回収品目には入って

いなかったことから、修正した。

また、リサイクル量の推移グラフの分類名についても修正した。

7 ページ

「3) 健全な水循環の推進」の取組について、上水道を加えたほか、生活排水に係る啓発については、もっと広い観点で行っていることから「水質情報や水の魅力などの情報発信を通し、水質保全の啓発を行います。」に修正した。

また、「7) 土壌汚染対策」の取組について、「農薬や化学肥料による農地の土壌汚染を防止するための啓発」については、他の取組で網羅していること、農薬の種類によって土壌汚染に当たらない場合があることから削除した。

次に、「化学肥料・農薬の使用を抑えたクリーン農業（環境保全型農業）を推進し、普及や技術導入に関する支援に努めます。」について、水質汚濁の防止に該当するため、「4) 事業活動における水質汚濁の防止・抑制」の取組に移動した。

8 ページ

「空港・基地があるまち」との記載について、航空機騒音に限定した記述にするため、削除した。

9 ページ

自然共生の基本的な考え方について、総合計画に合わせた表現とするため、「人為的影響などにより」を加えた。

10 ページ

「2) 自然環境の活用・空間形成」の取組について、記載していた「連続性」の表現が適切ではないため、文章を修正した。

11 ページ

市民の取組について、総合計画との整合を図るため「支笏洞爺国立公園支笏湖地域における利用の集中やマナー違反などによる自然環境や野性動植物への影響を軽減するため、適正な利用に心掛けましょう。」を追加した。

12 ページ

事業所の取組について、デポジット制やリターナブル製品は、ここ10年間新たな取組などがないことから削除した。

13 ページ

「1) 環境教育・人材育成」の市の取組について、総合計画の整合を図るため「支笏洞爺国立公園支笏湖地域における利用の集中やマナー違反などによる自然環境や野性動植物への影響を軽減するため、適正な利用など利用者の理解を促進します。」を追加した。

14 ページ

5-3の指標について「情報媒体の更新回数及びアクセス数（関係団体）」を「市民

の環境保全活動認知度」に改めた。

15ページ

(3) 策定経過について、令和2年度のこれまでの取組を追加した。

【質疑応答】

委 員

SDGs の話を関連させて書いてあるが、もう少し具体的な概要（ターゲット）が記載されている。それらが全然表現されていないのだが、それらを入れた方が良いのではないか。

例えば、計画素案の 10 ページに SDGs の目標が記載されているが、その 1 つ 1 つにいくつかのターゲットやインデックスがある。それらと計画との関連性をもう少し追記した方が良いのではないか。

事務局

SDGs を達成することが本計画の目的ではなく、本計画を推進することによって、SDGs の取組みにも寄与するという視点で記載していることから、ターゲットやインデックスといった踏み込んだところまでは触れていない。

委 員

SDGs の取組については、具体的にどういう内容をどこまで取り組まなければいけないかが細かく書かれている。そういったところとの関連性を明確にしなくては、ただ単に引用するだけでは意味がないと考える。

SDGs 全体ととらえると大きな話になってしまうのでここでは触れないが、そのようなことも含めて関連がわかるような形で記載したら良いと考える。

会 長

基本計画なので、具体的なところについては、基本計画が策定されてから個別に詳しく策定していくという形になるのではないかと思う。

事務局

SDGs について補足で説明させていただくが、ターゲットがあるということは承知しているが、本計画は、あくまでも現在行っている取組を SDGs につなげていくという考え方に基づいたものであり、例えば 59 ページなど、SDGs の目標の各番号に対応していることを示し、細かなターゲットまでは載せていない。

今後、本計画の具体的な取組を通して、SDGs との関連性を考えていく。

審議第 2 号 第 3 次千歳市環境基本計画概要版について

(2) 「審議第 2 号」について長谷川会長から事務局へ説明が求められ、次のとおり説明した。

【審議第 2 号】

第 3 次千歳市環境基本計画概要版について

説明資料として、資料 2 の環境基本計画概要版により説明した。

概要版については、本編よりも発行部数が多く、町内会の各班に配布するほか、各環境イベントでも配布することを予定し、より多くの市民に周知することを目的に作成することから文字数を極力減らし、イラストなどを多く用い、読みやすく、親しみやすいものを目指している。

1 ページ

「計画の基本的事項」で本計画のこれまでの経過や位置付け、行動期間を記載している。

2 ページ

「計画の対象地域」、「対象とする環境の範囲」を記載している。

3 ページ

「計画推進の主体」と「SDG s」について記載している。

4 ページ

「千歳市の現況」を主に分野ごとに要約して、記載している。

5 ページ

「望ましい環境像と基本目標」を本計画で使用している図を用いて記載している。

6 ページと 7 ページ

見開きで「計画の体系」を一覧とし、市の主な取組を記載している。

8 ページから 12 ページ

「分野ごとの取組」を本編から要約して記載している。

「取組方針」や「主な指標」のほか、市民や事業者にお願いする主な取組についてイラストを用いた上で記載している。

13 ページ

「計画の進行管理」として管理体制や PDCA サイクルについて、本計画で使用している図を用いて示している。

14 ページ

用語解説とコラムを記載している。

【質疑応答】

会 長

概要版は全世帯配布にするのか。

事務局

町内会の各班に配布し、回覧等を図る予定である。

会 長

了解した。

委 員

概要版はカラー刷りなのか。

事務局

そのとおりである。

委 員

14 ページのコラムは、斜線のデザインが見つraitため、デザインを検討していただきたい。

事務局

了解した。

会 長

後ほど意見や疑問点があった場合、修正はいつまで可能か。

事務局

概要版のレイアウトについては、2 週間を目途にお願いしたい。

会 長

2 週間であると、その後の行程が詰まると考えるため、レイアウトや見やすさについて、来週末までに事務局に連絡をお願いしたい。

報告第 1 号 千歳市環境基本計画（第 2 次）の進捗状況及び千歳市役所エコアクションプランの進捗状況について

（1）「報告第 1 号」について長谷川会長から事務局へ説明が求められ、次のとおり説明した。

【報告第 1 号】

千歳市環境基本計画（第 2 次計画）の進捗状況及び千歳市役所エコアクションプランの進捗状況について

説明資料として、資料 3 の「千歳市環境基本計画（第 2 次計画）の進捗状況について」より説明した。

2 ページ

「令和元年度末現在における目標項目の数値について」

表 1 の令和元年度末現在の目標項目別数値一覧は、環境基本計画（第 2 次計画）の目標項目に係る令和元年度末現在の数値を記載している。

表の右側の欄「令和元年度末の目標達成状況」については、令和元年度末現在の数値目標を設定している項目に対し、目標を達成した場合は○、達成できなかった場合は×としている。

また、「横線」は、令和元年度末の数値目標を設定していないことを意味してい

る。

なお、◎については、令和元年度末の数値目標を設定していないが、すでに令和2年度までの目標を達成したものになる。

表1は、6ページまで続いているが、詳細については、7ページに項目の達成状況、8ページに目標を上回った項目、下回った項目、9ページから14ページに項目別のグラフを示している。

令和元年度末の目標達成状況について説明する。

説明については、9ページからのグラフを見てもらいながら行いたい。

目標を上回った項目について

11 ページ

項番13の自然環境監視員の監視回数だが、「監視回数を毎年89回とする目標」に対し、令和元年度監視回数は95回の実施で目標を達成した。

項番17の自然環境行事の開催回数だが、目標の開催回数年10回に対し、元年度開催回数は、10回の開催となり、目標を達成した。

13 ページ

項番29の環境学習などの受講者数だが、「毎年、240人とする目標」に対し、元年度受講者数は、354人で目標を達成した。

14 ページ

項番35の郷土の自然、歴史、文化を学ぶ機会ですが、「平成21年度の10回を20回に増やし、令和2年度まで継続する目標」に対し、元年度実施回数は32回で目標を達成した。

目標を下回った項目について

10 ページ

項番10の花いっぱいコンクールの参加件数だが、目標参加件数220件に対し、元年度参加件数は、これまでの参加者が高齢化などにより、参加人員の伸び悩みにより207件となり、目標を下回った。

11 ページ

項番15の野生傷病鳥獣保護件数は、「鳥獣保護や苦情・相談等の件数を毎年160件以下とする目標」に対し、元年度の保護件数は173件であり、目標を達成とはならなかった。

項番16の開発行為に当たっての事前協議件数だが、「毎年、5件程度とする目標」に対し、元年度の実施件数は1件で目標を達成とはならなかった。

12 ページ

項番22の環境イベント参加者数だが、目標参加者数2,500人に対し、元年度参加者数は、多くの参加者を想定していた「消費者まつり」について、開催当日に他のイベントが重なったことから参加者が想定より少なく、1,914人となり、目標を下回った。

なお、項番 30 は項番 22 と目標が同じなので、説明を割愛する。

7 ページ

4 「令和元年度末現在の数値目標を設定している項目の達成状況について」に示しているが、年度ごとの数値目標を設定しているものの 9 項目中で、目標を上回ったものは 4 項目、下回ったものは 5 項目となっている。

なお、下回った 5 項目のうち、項番 22 と項番 30 は、同一の目標であるので、実質 4 項目が下回ったことになる。

千歳市役所エコアクションプランの推進状況について

資料 3 の 15 ページ以降となる。温室効果ガス排出量削減状況、エネルギー消費の削減状況の各目標の実績について説明する。

16 ページの 2 の「令和元年度の温室効果ガス排出量の削減状況」

市役所全体の温室効果ガス排出量の目標は、「令和 2 年度までに平成 22 年度比 5.1%削減」としている。

令和元年度の排出量や削減率について、市の事務・事業全体の排出量の実績は、39,681t-CO₂となり、平成 22 年度比で 0.4%の減という結果となった。市の施設は、平成 22 年度と比較して第 2 庁舎、休日夜間急病センター等の施設数の増加、利用日数や利用時間の増加等の影響で温室効果ガス排出量が増加傾向となることは止むを得ないと考えるが、種別で見ると、17 ページの表 5 中の「施設のエネルギー消費」では、削減目標の 2.9%に対し、平成 23 年度以降に新設された 7 施設のエネルギー消費分を差し引くと、6.7%の削減となり取組が進んでいると考える。

今後も施設管理責任者を中心として、全ての職員が節電などの環境配慮行動に努め、温室効果ガス排出量のさらなる削減を目指していきたい。

18 ページ

4 「令和元年度のエネルギー消費の削減実績」

表 6 の「令和元年度のエネルギー消費の削減状況」だが、種別ごとに消費量及び削減率の目標と実績を表している。

表 6 の種別の 3 部局の施設に係るエネルギー消費については、令和元年度の目標値を省エネ法に合わせてエネルギー消費原単位で平成 22 年度と比較して 8.6%削減を目標としている。

令和元年度実績は、市長部局において 10.0%削減、水道局において 13.5%削減、教育委員会において 7.3%削減し、市長部局と水道局は目標達成となった。

種別の「道路関連施設のエネルギー消費」についてあるが、街路灯及び融雪用のロードヒーティングといった道路関連施設のエネルギー消費について、平成 22 年度実績値以内を維持することを目標としている。令和元年度の実績は、道路関連施設全体で 3.5%削減し目標達成となった。

種別の「自動車の使用に伴うエネルギー消費」についてであるが、自動車の使用に伴うエネルギー消費については、平成 22 年度実績値以内を維持することを目標としており、令和元年度は、消防の救急出動回数や道路管理パトロール等の業務増加により公用車の使用が増えたことが要因で、13.7%の増加となり、目標未達成で

あった。

【質疑応答】

委 員

14 から 18 ページのエネルギー消費の削減率は、施設全体の記載をしているが、千歳市全体としてどうであるかが問題であるので、項目ではなく、全体としてのエネルギー消費の削減率を示すとよいと考える。

事務局

国の省エネ法に基づいた定期報告に則り、部局ごとに示すようにしている。市役所全体では、市長局で 1 事業所、教育委員会で 1 事業所、水道局で 1 事業所として取り扱うため、このような記載としている。

委 員

個人的な意見だが、全体としてエネルギー消費が増減しているかを知りたい。報告の体裁として個別に記載していることは理解できるが、関連部局全体として、どうなっているかを知りたいと思った。個別に減っていても、全体として増えているのか、減っているのかはわからない。

事務局

今後審議会等で報告する際は、記載方法を検討したい。

委 員

みなさんが一番知りたいことはエコアクションの中で、市として頑張ってエネルギー消費を減らしているということである。全体として、それがわかるとよい。

事務局

了解した。

委 員

道路関連施設のエネルギー消費で、3.5%削減したとあるが、たまたま雪が少なかったなど具体的な原因を教えてもらいたい。

事務局

道路関連施設とは、街路灯、融雪用のロードヒーティングなどであるが、去年は暖冬であり、積雪が少なかったため、そのことが原因であると考えている。

委 員

積雪が増えると、エネルギー消費は増えるのか。

事務局

そのとおりである。積雪量が多くなると、融雪用のロードヒーティングに稼働時間が長くなり、エネルギー消費量が増加する。

委 員

了解した。

委 員

11 ページの項番 15、野生傷病鳥獣保護等の件数であるが、千歳市環境基本計画（第 2 次計画）の令和元年度の数値が 173 件になっている。以前頂いた第 3 次千歳市環境基本計画素案の 74 ページに、指標としてほぼ同じ野生傷病鳥獣要保護出動回数が令和元年度に 115 件となっているが、この中身は違うのか。どのように理解

すればよいか。

事務局

今回報告した千歳市環境基本計画（第2次計画）の進捗状況に係る数値は、野生傷病鳥獣保護のほか、カラスの威嚇等に関する苦情・相談等の件数が含まれている。現在策定中の第3次環境基本計画（素案）では、野生傷病鳥獣保護の出動した件数であるため内容が異なっている。

委員

了解した。

委員

13 ページの項番の 25、27 について、具体的に何回にするという目標は立てやすいのと思うが、家庭用の廃棄物について、令和元年度の数値が多くなったことや、項番 27 のリサイクル率がだんだん下がってきているところ、令和元年度に上がっていることなどの理由は何か。

事務局

取りまとめた資料の数値に齟齬があるため、グラフではそう見えるが、家庭から排出されるごみの量は、微減傾向となっている。グラフの縦軸の目盛りが 2 万から始まっているため凸凹が大きく見えてしまうが、0 から始まる目盛りにすると微減傾向になっていることがわかる。

リサイクル率についても、平成 27 年頃から極端に下がっているように見えるが、実際の数値で見ると、15%程度で推移している状況となっており、リサイクル率は横ばい・微減傾向である。リサイクル率はあげていくことが目標ではあるが、微減傾向となっている理由としては、リサイクル率の計算方法において、一般廃棄物の総量が分母で、リサイクル処理量が分子になっている。分母の部分には企業から排出される一般廃棄物も含まれる。空港の活況など企業活動が活発化している傾向にあるため、分母が大きくなっている。その中で、リサイクル処理量は同程度で推移しているため、数値が下がっている状況になっている。

数値については、後ほど確認する。

事務局

資料の数値について、事務局で確認した上で改めて文書でお知らせしようと思う。減少傾向についてはお伝えしたとおりである。

議事録を送付する際に、確認した数値を回答する。

会長

今後の予定であるが、第3次千歳市環境基本計画の答申書案の審議を行う。今回の審議結果について、大幅な修正がないことや、新型コロナの感染状況が増加しているので、できるだけ密になることを避けるために、答申書案については、会長、副会長、事務局で作成し、後日、委員のみなさまに郵送で送付するが、よろしいか。

委員全員

異議なし。

4 その他

特になし

5 閉会